

1 方策① 運行経費の削減

(1) 概要

終日利用者の少ない土休日について減便するとともに、平日夜間帯は文教大学折返しとするなど、効率的なダイヤで運行することで、人件費を削減する。

ただし、昨今の燃料費高騰等の影響により、どの程度削減できるかは未定。

(2) 運行ダイヤ案

	改定前	改定後
平日	51 便	47 便 ※ 六町駅発 19 時台以降は文教大学折返し
土休日		36 便

2 方策② 運賃収入の増加

(1) 概要

利用者数の半数を占めるシルバーパス利用者(現在無料)から運賃を徴収することで、運賃収入を増加させる。

(2) 運賃体系案 (現金・ICカード共通、消費税含む)

利用者種別	運賃額	運賃種別
12 歳以上 (中学生以上)	220 円	大人運賃
6 歳以上 12 歳未満 (小学生)	110 円	小人運賃
障害者手帳を所持する者及びその介護人 ※ 有効な障害者手帳の提示が必要		割引運賃
シルバーパス利用者 ※ 有効なシルバーパスの提示が必要		割引運賃

3 方策実施後の収支率 (見込)

方策①と方策②を同時に実行した場合の収支率は、下記のとおりとなる見込み。

◆ 方策実施前 (1 期の収支率) 9.7% (目標値 24%)



◆ 方策実施後

シルバーパス利用者	全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用
1 期結果より算出	17.1%	14.3%	12.8%
(参考) 4~6月結果より算出	19.6%	16.4%	14.9%

24%に達成するには、ご利用者の大幅な増員(1期比 約1.4倍)が必須

4 今後のスケジュール

時期 (予定)	内容
8月上旬	地域公共交通会議開催
8月下旬	バス事業者から国土交通省へ届出
9月上旬	ニュース・時刻表等チラシの発行、周知
10月1日	ダイヤ改定・運賃体系変更の実施